

幼児向け環境教育プログラム体験会 報告書

-  **日時** 2019年9月8日(日) 9:00~12:00
-  **場所** 九十九島ビジターセンター
-  **講師** プロジェクトワイルド長崎県
代表 衣川 圭太 先生 (一般社団法人マミー)
-  **参加者** 12名(8施設) + ビジターセンタースタッフ2名



佐世保市では、「佐世保市環境教育等推進行動計画」に基づき発達段階に応じた環境教育を推進しています。

幼児期においては、特に感受性が豊かなことから、身近な自然環境に触れる体験学習等を実施することで、周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うことができると考えています。

そこで、幼稚園教諭及び保育士の皆さまが通常の教育・保育の中で簡単に実施可能なプログラムを体験していただく「幼児向け環境教育プログラム体験会」を実施しました。

先生方に体験していただいたプログラムを、各園で実践していただき、環境への取り組みが広がっていくことを願っています。

また、今回は、佐世保私立幼稚園協会、佐世保市保育会のご協力を賜り当体験会の広報をさせていただきましたところ、休日にもかかわらず多くの先生方にご参加いただきましたことに、厚く御礼申し上げますとともに、今後とも本市の環境保全への取り組みへのご理解、ご協力をお願いいたします。

佐世保市環境部環境政策課

体験会 プログラム内容



2019年9月8日（日）9:00～12:00

1. アイスブレイク	1
① みる見る観る	
② すずめの間違い探し	
2. 屋外での活動	2
① 生きもの探し	
② クレヨン落ち葉の写し書き	
③ 野外で算数	
3. おにごっこしながら環境教育	3
① ヘビとカエル	
② ジャングルゲーム	
4. 制作時間に使える環境教育	4
① イルカのパペット	
② カメさんの胃袋	
③ つりってたのしい	
④ いきものパズル	
⑤ ごみカード	
5. 講演 ～ 主体的な活動へ ～.....	5
6. アンケート結果	6



1. アイスブレイク



初対面の人同士が、その緊張をときほぐすための手法のことです。

集まった人を和ませ、コミュニケーションをとりやすい雰囲気を作り、そこに集まった目的の達成に積極的に関わってもらえるよう働きかけるものです。

① みる、見る、観る

挨拶後、お互いに後ろを向き、一部分を変えて振り返り、変わった部分を当て合うゲームです。

回数を重ねるごとに、ただ「みる」だけから、「見る」へ、さらに注意深く「観る」へと変わっていき、子どもたちは自分から前のめりに観察をするようになります。



② すずめの間違い探し

すずめに他の鳥類の特徴を加えたイラストを見て間違いを探します。



親子（家族）同士で行ったり、植物観察やお散歩、探検の前などに行ったりすることで、より注意深く観察する準備を整えることができます。

また、上記アクティビティの実践後は、自然と生き物や植物に目がいくようになり、観察の目が変わってくるといったような、きっかけ作りに役立ちます。

2. 屋外での活動



① 生きもの探し

園庭やお散歩先でいろいろな生きものを探します。普段は何気なく通っている道端にもいろいろな面白い生きものが息をひそめて隠れているかもしれません。

見つけた生きものは、観察したら返してあげましょう。



② クレヨン落ち葉の写し書き

落ち葉の上に紙を置き、その上からクレヨンで色を付けていきます。

ギザギザ、丸い、硬い、柔らかいといった葉の特徴が自然と理解でき、最終的には図鑑でその特徴から名前などを見つけられるようになる子もいます。



③ 野外で算数

ロープや落ちている枝などを使って、色々なものの長さを図ります。

一人ずつ 1m のロープを持たせ、色々なものを測るうちに、長いものを 2・3人で測る遊びを見つけ出し、「1m が 3 人分で 3m」など、たし算やメートルの概念などが自然と遊びながら学ぶことができます。



3. おにごっこしながら環境教育



① ヘビとカエル(瞬間冷凍動物)

ヘビ役(オニ)は自由に動けますが、カエル役がフープ内に体の一部を入れると捕まえられません。カエル役は、ヘビにつかまらないように対岸のエサを取って帰ってくる遊びです。



② ジャングルゲーム(動物フィギア)

動物のフィギアを自分に見立てて、かくれんぼをします。オニはその場から動かずにフィギアを探します。

隠れる方は、体全体を隠すのではなく、目はオニを見ていなければなりません。



オニから逃げる・隠れることで、逃げたり隠れたりする虫などの気持ちを体感することができます。また、オニも獲物を捕まえる大変さを体感することができます。

4. 制作時間に使える環境教育



① イルカのパペット

イルカは何をどうやって食べているのかを知ってもらい、生きものへの関心を高めます。

② カメさんの胃袋

紙袋をカメの胃袋に見立てて、何を食べるのかを考えます。

カメはなんでも食べてしまいます。プラスチックなども食べてしまい、栄養失調で死んでしまうことがあります。そこから子どもたちにできることを考えてもらうきっかけを作ります。



③ ついて楽しい

希少な生物、外来生物がいることを理解してもらい、希少な生き物を大切にもらうきっかけを作ります。

④ 生きものパズル

生きものたちが「食べる、食べられる」関係でつながって、命が循環していることを感じてもらいます。

⑤ ごみカード

「生きものが間違えて食べてしまうごみ」、「生きものの体に絡みついてしまうごみ」の写真をボードに並べさせて、漂着ごみが生きものに与える影響を考えてもらうきっかけを作ります。

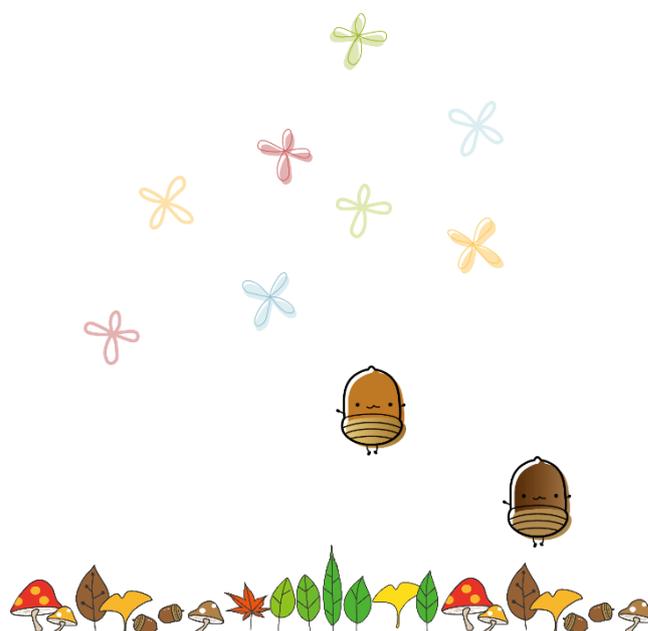
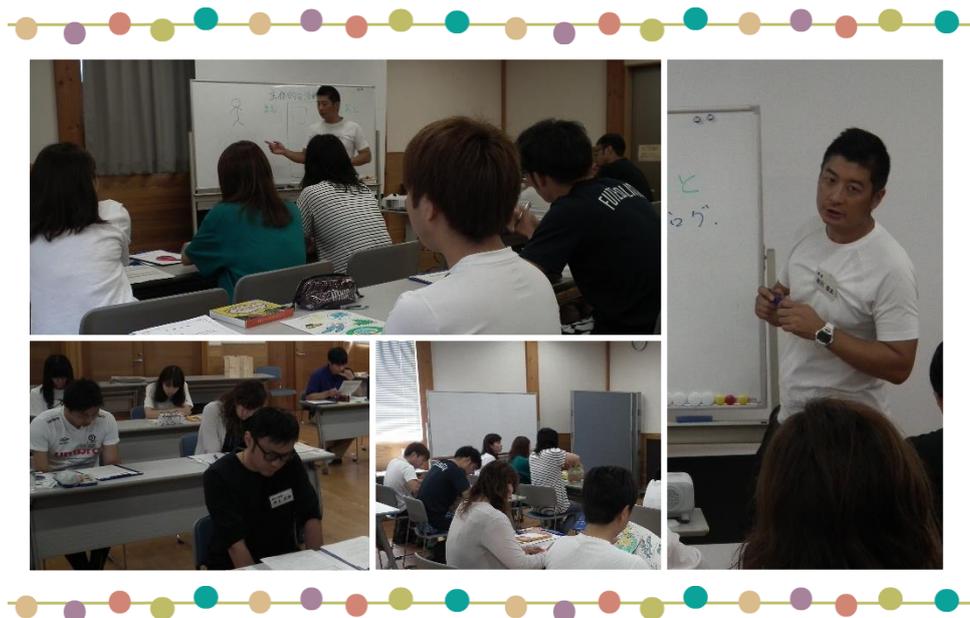


5. 講演～主体的な活動へ～



講師の衣川先生から、「畑遊び、自然遊びの季節的行事の環境について」と題し研究された論文を基に、お話をいただきました。

保育者主導ではなく、子どもの「主体的な活動」という視点をもって、子どもたち自身がやってみたいという気持ち、生き生きと主体的に取り組む行事の在り方を検討し実践することを本研究の目的とされていました。



6. アンケート結果



1. 体験会の開催日程（日曜日の午前）は参加しやすかったですか。

(1) 参加しやすかった	11名
(2) 他の日程がよかった	3名

2. 参加しやすい日程はどれですか。また時期はいつですか。（複数回答可）

【日程】	人数	【時期】	人数
(1) 平日の午前	1名	6月	3名
(2) 平日の午後	5名	7月	2名
(3) 土曜日の午前	6名	夏休み	5名
(4) 土曜日の午後	6名	9月	3名
(5) 日曜日の午前	9名	10月	1名
		11～12月	1名
		冬休み	2名
		1～2月	1名
		3月	0名
		春休み	3名

3. 体験会の長さはいかがでしたか。

(1) 長かった	0名
(2) ちょうど良かった	14名
(3) 短かった	0名

4. 今回体験したプログラムを、園の中で実践しようと思いましたか。

(1) そう思う、実践するつもりだ	11名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当クラスが2歳児のため、レベルが高い。年長児だと楽しめると思う。 ・ 年少のクラスだから、少し難しそう。 ・ 園の周辺の環境が悪く、自然がない。
(2) そう思うが、実践は難しい	3名	
(3) 実践できると思えなかった	0名	

5. 今回体験したプログラムに関して、園での実践を前提とした場合、今後どのような内容のプログラムを希望しますか。（複数回答可）

(1) ごみ・リサイクルに関すること	4名
(2) 水環境（水の大切さ）に関すること	6名
(3) 大気環境（大気汚染含む）に関すること	1名
(4) 地球温暖化・省エネ・再エネに関すること	0名
(5) 自然環境・観察に関すること	12名
(6) 食品ロス・エコクッキングに関すること	3名
(7) その他	0名

6. 今後、体験会が開催される場合、また参加してみたいと思いますか。

(1) 思う	14名
(2) 思わない	0名

7. 今後、体験会が開催される場合、同僚等へ参加を進めますか。

(1) 思う	14名
(2) 思わない	0名

8. 本日の体験会へ参加した感想や要望、意見等をご自由にお書きください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ オニごっこや、かくれんぼのゲームが、定番のものとは違い楽しめた。 ・ 「見る」「観る」事に集中し、取り組めることができた。 ・ “主体的”を意識し、保育を進めていこうと思う。園でブログをしているので“主体的”になっているんだと思った。 ・ 虫探しも一つの保育になるんだと思った。(日中の活動) ・ オニごっこや、かくれんぼを必死に行い楽しかった。 ・ 普段、当たり前だと思っている自然や環境のことを、分かりやすく伝えて頂き、子ども達にも伝えていこうと思えました。 ・ 環境について、子ども達に何をどのような方法で伝えていくか悩んでいましたので、参加でき、手段を学べて勉強になりました。 ・ 色々な工夫、発展できるものが多く、大事なもの、技術面で遊びを広げていくことができます。本日はありがとうございました。 ・ 自然に触れる、学ぶということを体験型で楽しく参加できた。 ・ 虫に興味がない子、苦手な子でも楽しめると思った。 ・ 楽しく環境を(カメの件など)学び、環境を考えるキッカケになると感じた。 ・ とても楽しく参加できました。環境のことや、食物連鎖など遊びを通して知ることができ、とても勉強になりました。ただ、年中から小学生までで、楽しく遊べるものが多く、出来れば年少さんでも遊べるような物も知りたかったです。 ・ 3時間があっという間で、楽しいことばかりでした。“みる”の一言につけることもあり、視点を変えて ・ 自然だけでなく、人の変化にも気付けるようになっていきたいと思います。 ・ 機会があれば、また体験会に参加させていただきたいです(^^) ・ 自然環境への関わりを持つ機会が、なかなか取れず悩んでいるところでした。園内で出来ること、市へお願いをすれば協力してくれることなど知ることができ、実践したいと思いました。ありがとうございました。 ・ 今回の研修で、子どもたちの遊びの幅が広がっただけではなく、環境について自分で見て学ぶことが、どんなに大切かを知ることができました。環境について、自分自身あまりわかっていないことも多く、子どもたちに教えることはまだ難しいと思うので、しっかり知識を身につけて、遊びの中から教えられることがあればと思いました。 ・ 鬼ごっこが個人的に楽しかったので、空いた時間を使ってしてみたいと思います。ありがとうございました。 ・ 実際に自らの目で見たり、観たり、肌で感じることによって、漠然としていた環境についての子どもたちへのアプローチ、自己理解を深めることができたように思います。 ・ 鬼ごっこやかくれんぼなど、遊びを通して興味、関心を向けられるように、また“自主的な活動”を引き出せるように問いかけや前後の時間も大切にしていきたいと思いました。自分自身、楽しみながら参加でき、有意義なものとなりました。ありがとうございました。 ・ 生き物のつながりや、環境について、遊びを通して楽しく学ぶことができました。全て興味を持って、思い切り楽しむことができ、あっという間の3時間でとても勉強になりました。早速、今日教えて頂いたことを自分でも実践してみたいと思います。 ・ 子どもの目線、気持ちに戻り、合わせながら「これをして！！」という主体的な活動を考え、日々保育したいです。 ・ 自然体験(ネイチャーゲーム等)をしてみたいです。今回の内容もすぐに保育に生かせるものだったので役に立ちました。 ・ ビジターセンターでも使える内容が多数あったので、イベントにからめて使えればと思います。
--

令和元年度 幼児向け環境教育プログラム体験会 報告書



✿ 2019年9月 佐世保市環境部環境政策課

✿ 〒857-0851 佐世保市稲荷町1番8号

✿ 電話 | 0956 (31) 6520 FAX | 0956 (34) 4477

✿ e-mail | kansei@city.sasebo.lg.jp

